

平成 30 年 6 月 1 日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
〔公印省略〕

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

1. 職名・募集人員
助教 1 名（平成 31 年 3 月 31 日時点で 36 歳以下であること）
2. 勤務形態・任期
常勤，採用日から 5 年間の任期付教員とする。ただし，任期中に行われる業績評価によっては，契約期間の定めのない教員（承継職員）とすることがある。
3. 給与
年俸制（国立大学法人三重大学年俸制適用教員給与規程適用）
4. 所属
生物圏生命科学専攻・生命機能化学講座・栄養化学教育研究分野（なお，今回採用する教員のポストは，大学本部の地域創生戦略企画室に位置づけられており，当該教員は生物資源学研究科を兼務する形態となる。）
5. 講座および教育研究分野の教育と研究内容
生命機能化学講座は，バイオサイエンスとバイオテクノロジーの手法を用いて，食料，健康，医薬，生活，環境の広範囲な領域において生物資源を有効活用することを目的とし，動物・植物・微生物の多彩な生命現象の仕組みおよびこれらの生物が生産する物質の構造と機能を明らかにするための教育と研究を行っている。栄養化学教育研究分野では，食物に対する生体の応答を個体，組織，細胞，さらに分子や遺伝子レベルで明らかにすることを目的として教育研究を行っている。
6. 担当予定授業科目
[学部・教養教育]
生命機能化学実験実習，生命機能化学演習Ⅰ・Ⅱ，卒業研究，化学実験など
[大学院博士前期課程]
栄養化学演習，生命機能化学特別研究など
[大学院博士後期課程]

蛋白質化学工学，特別演習，特別実験，特別調査研究など

7. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し，学部学生および博士前期・後期課程の学生の指導に熱意を持って取り組めること。また，大学において学生指導の経験を有していることが望ましい。
- (2) 学部・研究科および当該教育研究分野の運営に協調性をもって積極的に取り組めること。特に当該教育研究分野の教育研究について，所属教員と協力して取り組めること。
- (3) 上記5で示した栄養化学の領域での優れた研究実績と研究能力を有すること。具体的には，生命現象の基本過程やその仕組みを分子・細胞レベルで明らかにする研究等に関する優れた研究実績を有し，栄養成分や食品成分の代謝や機能性評価等を，動物実験，動物細胞培養実験や，栄養化学的，生化学的，分子生物学的研究手法等によって遂行できる能力を有すること。
- (4) 農芸化学の視点に立って実験実習を担当できること。
- (5) 地域圏大学としての三重大学の目標を理解し，地域創生につながる地元企業等との産学連携（共同研究・受託研究）や高大連携活動に積極的に取り組む意思があること。
- (6) 平成31年3月31日時点で36歳以下であること。
 - ※ 文部科学省の国立大学改革強化推進補助金（特定支援型）「優れた若手研究者の採用拡大支援」にかかる本学の人事計画に基づいて、応募条件を設定しております。
 - ※ 男女共同参画の観点から女性研究者の積極的な応募を望みます。

8. 応募書類（各1部を提出）

- (1) 履歴書（写真貼付；高等学校卒業以降の学歴，職歴，学位取得年月日と博士論文題目，所属学会，その他学会賞などの受賞歴，資格など）
- (2) 業績目録
 - ・ 原著論文，国際学会プロシーディング，著書，総説・解説等，特許出願，その他に区分し，新しいものから順に並べ，番号を付すこと。
 - ・ 原著論文，国際学会等プロシーディング，著書，総説については，査読制度の有無を記載し，応募者が責任著者である業績番号には*を付すこと。
 - ・ 原著論文については，各業績の概要，自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章（各200字程度）を必ず添えること。
- (3) 上記業績目録に対応する論文の別刷（コピー可）（代表的なもの5編以内）
- (4) 修得研究手法一覧
 - ・ 応募資格・条件（3）に相当する具体的研究手法で応募者が修得しているものを箇条書きし，それぞれについての実績を挙げること。実績については，修士論文や学会発表等（発表者，発表題目，発表学会名，発表年月等）でも可。
- (5) 研究費獲得実績，プロジェクト参加実績一覧
- (6) 教育に関する実績一覧
- (7) 学会等での活動，地域における取り組み等，社会貢献に関する実績一覧
- (8) 大学等での管理運営に関する実績一覧
- (9) これまでの研究に関する概要（A4判，1000字程度）

- ・業績目録（２）に用いた原著論文のみを挙げ、その整理番号を引用すること。
 - （１０）着任後の教育・研究活動に関する抱負（A4判，1000字程度。特に，学部学生に対する栄養化学教育研究における自らの取り組みについて説明してください。）
 - （１１）応募者の連絡先（住所，電話番号，電子メールアドレス）
 - （１２）応募者についての照会先（２名：氏名，所属，役職，電話番号，電子メールアドレス）
- なお，応募書類の返却はいたしません。

9. 応募期間

平成30年6月1日（金）～平成30年7月2日（月）（必着）

10. 選考方法

書類審査を主としますが，選考の過程で面接を行う場合があります。面接の場合の旅費は，自己負担となります。

11. 着任時期

平成30年10月以降のできるだけ早い時期

12. 応募書類提出先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学大学院生物資源学研究科生物圏生命科学専攻

専攻長 教授 奥村 克純

（持参または郵送。郵送の場合は簡易書留で「生物圏生命科学専攻教員公募書類在中」と朱書きのこと）

13. 問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学大学院生物資源学研究科生物圏生命科学専攻生命機能化学講座

講座主任 教授 稲垣 穰

TEL：059-232-1211（三重大学代表）

E-mail: inagaki@bio.mie-u.ac.jp

14. 参考

生命機能化学講座教員一覧（平成30年6月1日現在）

教育研究分野	教授	准教授	助教
分子細胞生物学	奥村 克純		緒方 進
分子生物情報学	田中 晶善		三宅 英雄
生理活性化学	稲垣 穰		

創薬化学		増田 裕一	
生物機能化学		勝崎 裕隆 岡咲 洋三	
生物制御生化学	寺西 克倫		
食品生物情報工学	橋本 篤 末原 憲一郎 *		
食品化学		磯野 直人	
微生物遺伝学	木村 哲哉		國武 絵美
栄養化学	梅川 逸人	西尾 昌洋	[本公募]
食品発酵学	荻田 修一		梅川 碧里

* 地域イノベーション学研究所所属

生物資源学研究所のホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp>

生物圏生命科学専攻のホームページ

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep03/index.html>

以上